

# 絆

児童一人一人がつながり合い  
児童と教職員がつながり合い  
学校と家庭・地域がつながり合い  
子どもが輝く学校をめざして！

校訓  
至誠

新温泉町立温泉小学校

第7号

令和7年12月5日

## 鉛筆の持ち方

私（校長）は、ほぼ毎日全学年の授業を参観しています。その中で、気になることがいろいろあるのですが、今回は、児童の鉛筆の持ち方について書かせていただきます。全校生のうち、書写の教科書に載っているような持ち方をしている児童は、10人ほどしかいません。とても独特な持ち方をしている児童もいます。一番多いのは、親指の腹が鉛筆にかからず親指の根元と人差し指で鉛筆を押さえるタイプです。「書いた文字がちゃんと読めれば、持ち方はどうでもいいのでは？」という意見もありますが、持ち方が正しくないと次のようなデメリットが考えられます。

- ①疲れやすく、長文が書けない。
- ②文字を整えて書くことができにくい。
- ③書いた文字が見えないことがあるため、横から覗き込むようになり、姿勢が悪くなる。
- ④姿勢が悪くなるので、視力が落ちる。
- ⑤漢字をなかなか覚えられないことがある。
- ⑥文字を書くこと自体がストレスになり、学習に集中しにくい。
- ⑦学習効率が下がり、学力向上に支障をきたす。

などです。小学校に入学した時には、独自の持ち方が定着しているので、それを直すには、相当強い本人の意志がないとできません。もちろん、学校では正しい鉛筆の持ち方を指導していますが、指導したときは直ってもいつの間にか元通りになってしまっています。左利きと同じで、無理やり直す必要はないという意見もあり、それを否定するものではありませんが、上記のようなデメリットを考え、児童たちに話をしていただければと思います。また、すでに上記のようなことが起こっている児童は、鉛筆の持ち方を直すことで、改善が期待できるかもしれません。

鉛筆の削ってない  
方は書いている人  
のほうを向きます



早いもので、1年間の中で、一番長い2学期も12月となりました。一時期、マイコプラズマ肺炎の児童が何人か出ましたが、一昨年のように半数近くの児童が、インフルエンザや体調不良で休むことはなく、何とかここまで来ました。しかし、ご存じとは思いますが、インフルエンザの新しい株が全国的にはやり、警報が出ている都道府県がたくさんあります。20歳未満の80%が、罹患しているというデータもあります。学校では、うがい・手洗いの奨励、換気に気を付けるなどを行っています。専門家によると、特に大事なものは、換気だそうです。寒い時期ですが、ご家庭でも気を付けていただきますようお願いいたします。また、湿度に関しても、乾燥しすぎないように気を付けていただきますようお願いいたします。

## オープンスクール・学習発表の会

オープンスクール、学習発表の会へのご参加ありがとうございました。学習発表の会は、発表に特化した参観日です。普段の参観日では、発表しない児童もこの日はどうしても発表しなければなりません。しかし、どうしても自信が持てない児童もいます。学校では、そのような児童たちに対して、何度も練習し、少しでも良くなったことは褒め、さらに「こうすればもっと良くなるよ。」と励まし、当日を迎えました。児童たちはその成果を発揮し、どの学年も堂々と発表できていたのではないかと思います。

児童たちが将来を生きていく上で、「自分の考えや思いを分かりやすく、正確に伝える」力はとても重要です。学校では、



今後もこのような力の育成に力を注いでいきます。もちろん基礎的・基本的な学力の定着は言うまでもありません。

## 人権講演会・資源回収

11/15の人権講演会への参加ありがとうございました。今年度は、講師にこどもNGO「<sup>ふところ</sup>懐」の高森拓也氏をお招きし、「地球体感キャラバン【命】の旅」と題し、講演を行いました。1～5年生も一緒に聞



かせてもらいましたが、高森氏が動画をたくさん用意してくださったおかげで、児童たちも真剣に聞くことができました。保護者のアンケートを見ると、「とても勉強になった」「子どもたちも聞いていたのが良かった」「来年また続きが聞きたい」などの意見が見られ、概ね好感触でした。

今、身近な人権課題として、「女性・こども・高齢者・障がい者」など20個くらいの課題が挙げられていますが、その中に、「被災した人たち」という課題もあります。我々が、一人一人の人権を尊重していくためには、「人権とは何か」「人権を守るためにはどうすればよいか」を知る必要があります。今回の講演はそういった機会を与えてくださるものだったと感じています。PTA 教養部員の皆様、ありがとうございました。

11/16の資源回収への参加ありがとうございました。年々、児童・家庭数の減少が続き、個別回収が難しくなっていますが、役員様・会員様の努力のおかげで、実施することができました。PTA 本部役員・福利厚生部員の皆様、ありがとうございました。